スタンド型　ワンクリック・スキャナー

Simply Scan

取扱説明書

NV-PS200U

もくじ

はじめに

この度は” Simply Scan” スキャナーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みください。

本取扱説明書および使用上の注意事項

※ 本書の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。

※ 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。

※ ソフトウェアおよび本書を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※ Windows は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。

※ その他、本書に記載されている会社名･製品名は各社の商標または登録商標です。

※ 本書は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。本書の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

※ 第三者の著作物を、著作権者の許可なしに利用することは法律により禁じられています。本製品を使用してマルチメディアコンテンツを作成する場合は、著作権者による著作物の使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

安全にご使用いただくために

下記の事項を守らないと火災・感電・故障の原因となります。

① 分解・改造はしないでください。（保証の対象外になります。）

② 水などの液体に濡らさないでください。（火災・感電・故障の恐れがあります。）

③ 本製品は乳幼児の手の届かない所で使用・保管してください。

ご使用にあたって

- 大切なデータは万が一の場合にそなえ、他の記憶媒体などに定期的にバックアップされることをお勧めします。
- 取り付け・取外しの時は、慎重に作業を行ってください。
- 次のような場所で使用しないようにしてください。
  ① 直射日光のあたる場所
  ② 湿気や水分のある場所
  ③ 傾斜のある不安定な場所
  ④ 静電気、強磁界、強電界の発生する場所
- お手入れの際には電源を切り、柔らかい布で拭いてください。シンナー・ベンジン・ワックス・アルコール等は使用しないでください。

購入後の保証について

保証期間内(ご購入日より 1 年間)に、日本国内で正常な使用状態でご使用の場合に限り、品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。

- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ① 保証書をご提示いただけない場合。
  - ② 保証書の所定の項目が未記入、または、購入年月日等の書き換え、または訂正された場合。
  - ③ 日本国外での使用による故障。
  - ④ 故障の原因が取扱上の不注意による場合。
  - ⑤ 動作保証を行っていない機器への接続や誤ったケーブル、専用品以外の部品等の使用に起因する場合。
  - ⑥ 故障原因が接続本製品以外の機器に起因する場合。
  - ⑦ お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑧ お客様の故意過失による破損。
  - ⑨ 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損害。
  - ⑩ オークション等個人売買により取得された場合。

※　免責次項

- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害、金銭的損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 弊社製品は将来発表されるハードウェア・ソフトウェア（OS を含む）との互換性は保証致しません。
- 製品の販売終了後、一定期間の経過、もしくは修理・保守部品等の在庫切れ等により、予告なく修理対応を終了させていただく場合がございますので予めご了承ください。

アフターサービスについて

● **修理をお申込の場合は**

保証期間中は、無償にて修理いたします。ただし、保証書に記載している「保証規定」に該当する場合や、中古品、オークション購入品につきましては、有償修理となります。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。

※　弊社が販売を終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

● **修理品の依頼について**

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を用意ください。

1. **本製品の保証書**
 ※ただし、保証期間を終了した場合は必要ありません。
 ※保証期間内であっても保証書の添付が無い場合は、有償修理扱いとなる場合がございます。

2. **下記内容を記載したメモ**
 ※ご返送先（住所/氏名/電話番号）
 ※ご連絡先メールアドレス
 ※ご使用環境（パソコンの機器構成、OS）、故障状況（どうなったのか）

3. **修理品を梱包してください**
 ※上記でご用意いただいた物と一緒に梱包してください。
 ※輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱、梱包材等で梱包してください。

● **修理の依頼先について**

修理のご依頼の際は、購入店へお持ち込みください。
また、修理を直接弊社にお送りいただく場合は、下記送付先までお送りくださいます様お願いいたします。

※原則として、送付いただく際の発送時の費用は初期不良（購入後 1 ヶ月以内を除き、お客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

※送付の際は、紛失を避けるため、宅配便か、書留郵便小包でお送りください。

【送付先】

〒113-0033　東京都文京区本郷 3-43-16　成田ビル 3F
株式会社　ノバック　ユーザーサポート　宛
☎ 03-3817-8711

ユーザーサポート窓口について

本製品に対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所 ： 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16　成田ビル 3F
株式会社ノバック サポートセンター
サポート専用電話 ： (03)3817-0938
受付時間 ： 月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く）
AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00

※お問い合わせの前に、まずこのセットアップガイドの「故障かな？困ったとき FAQ」をもう一度ご覧になってください。また弊社のホームページにアクセスしていただくと、製品の最新情報やFAQ などを掲載しておりますので、ご参照ください。

http://www.novac.co.jp/support/index.html

※お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えください。

※電話がかかりにくい場合は、e-mail でお問い合わせください。

※e-mail でのお問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせて頂きます。

※e-mail や電話で重複してお問い合わせの場合は、その旨お知らせいただけると助かります。

第 1 章　はじめに

1.1　内容物について

本製品には、以下のものが含まれています。

最初にパッケージの中にすべてのものが含まれていることをご確認ください。

①	スキャナー本体	1 台
②	USB ケーブル	1 本
③	ソフトウェア CD-ROM	1 枚
④	専用原稿マット	1 枚
⑤	取扱説明書（本書）	1 冊
⑥	保証書	1 枚

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

1.2　ご使用いただくためのパソコンの動作環境について

対応 OS	Windows XP SP-1 以降 / Windows Vista / Windows 7
CPU	Pentium 4 以上
メモリ	512MB 以上　（1GB 以上推奨）
インタフェース	USB 2.0 ポート (※)
グラフィックカード　/ ディスプレイモニター	DirectX 9 以降対応のグラフィックカード / 1024X768 以上の解像度のモニター
CD-ROM ドライブ	ソフトウェアのインストールに必要

※ USB1.1 での接続環境は、動作保証の対象外となります。

※ USB インターフェースカードの仕様によっては、USB ポートからの電源供給が安定せず、正常に動作しない場合があります。

※ 他の WEB カメラ、TV チューナー機器等と併用した場合、正しく動作しない場合があります。

1.3　本体各部の名称

1.4　本製品の仕様

"Simply Scan" スタンド型ワンクリックスキャナーは､本や紙のファイルや､カラー画像、3 次元の被写体などのスキャンができ、簡単に画像として取り込むことができます。

本製品は安定感があり、折り畳みができるようにデザインされています。スキャニングを行う場合、被写体との接触がないため、従来のスキャナーのように使用することや、動画（ビデオファイル）として取り込むこともできます。

本体	非接触型カメラデバイス
本体サイズ(折りたたみ時)	約 80mm(W) X 93mm X 245cm(H)
重量	約 600g
撮影可能サイズ	最大　A4 サイズ
撮影スピード	約　1 秒
最大解像度	1600 X1200
撮影ファイル形式	画像;　 .jpg, .bmp, .tif 動画;　 AVI (無圧縮 Microsoft AVI)
電源	USB バスパワー　500mA (※)
イメージ調整機能	カラー（RGB)、明るさ、ガンマ、彩度、露出、シャープ、ゲイン
光源	使用環境の明かり (※)

※ USB インターフェースカードの仕様によっては、USB ポートからの電源供給が安定せず、正常に動作しない場合があります。

※ 適切な光源のもとで使用することにより、より良い効果が得られます。

第２章　スキャナードライバのインストール

Simply Scan 本体をパソコンに接続する。

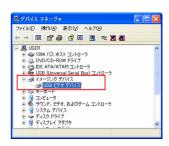
Simple Scan 本体をパソコン本体の USB ポートへ接続します。本体を接続することで、最初に OS 標準のドライバで、自動的に認識されます。

「デバイスマネージャ」を開き、以下の様に認識されていることを確認してください。

● Windows Xp の場合

「スタート」ボタン＞「コントロールパネル」（※）＞「システム」と進み、「システムのプロパティ」より、「ハードウェア」のタブ＞「デバイスマネージャ」の順で開きます。

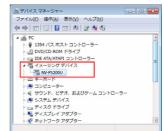
※ 「コントロールパネル」の表示が、「作業する分野を選びます」となっている場合は、画面左側のメニューより、「クラッシック表示に切り替える」をクリックし表示を切り替えます。

右図のように「イメージングデバイス」の項目に、「USB ビデオデバイス」と認識されていることを確認してください。

● Windows Vista / 7 の場合

「スタート」ボタン＞「コントロールパネル」（※）＞「デバイスマネージャ」の順で開きます。

※Windows Vista の場合は、「コントロールパネル」の表示が、「コントロールパネルホーム」となっている場合は、画面左側のメニューより、「クラッシック表示」をクリックし、表示を切り替えます。

※Windows 7 の場合は、「コントロールパネル」の表示が、「カテゴリ」となっている場合は、画面右上の「表示方法」より、「大きいアイコン」または「小さいアイコン」を選択し、表示を切り替えます。

右図のように「イメージングデバイス」の項目に、「NV-PS200U」と認識されていることを確認してください。

第３章　ソフトウェアのインストール

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的にインストール画面が起動しますので、手順にそってインストールを行ってください。

注意事項；

1. ソフトウェアのインストールの際は、コンピュータ管理者権限つきのユーザーで Windows にログインし、インストールを行ってください。
2. Windows Vista または Windows 7 環境では、「ユーザーアカウント制御」に関する警告が表示される場合がありますが、「許可」または「はい」を選択し、インストールを行ってください。

手順	画面
1. 右図の画面が表示されたら、“Scanner”ボタンをクリックします。	
2. 「次へ」ボタンをクリックします。	
3. 「氏名」、「組織」等の入力を確認後、「次へ」ボタンをクリック。	
4. 「次へ」ボタンをクリック。 ※インストール先のパスを変更したい場合は、「参照」ボタンからインストール先のパスを変更できます。	

5. 「次へ」ボタンをクリック。	
6. ソフトウェアのインストールが開始されます。	
7. インストールの完了画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。	

第４章　ソフトウェアについて

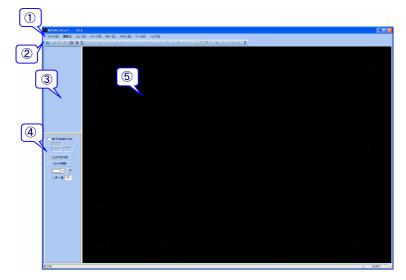
4.1　ソフトウェアの起動手順

デスクトップのショートカット「Scanner」アイコンをダブルクリック、もしくは「スタート」ボタンから、「プログラムメニュー」より「Simply Scan」＞「Scanner」の順でアプリケーションを起動します。

※（デスクトップ上のショートカットアイコン

）

4.2　ソフトウェアの画面の名称ついて

ソフトウェアの画面は、「メニュー」、「ツールバー」、「イメージ リスト表示」、「ビデオ表示」、「画像表示」、「ショートカット表示」、などで構成されています。

① メニューバー

ファイル(F)　編集(E)　ビュー(V)　イメージ(I)　カラー(C)　スキャン(S)　ツール(T)　ヘルプ(H)

本ソフトウェアの全ての機能はこのメニューから選択し作業をすることができます。

② ツールバー

メニューのショートカットです。ツールバーに表示されたアイコンから、効率的に作業ができます。

③ イメージリスト

スキャンされた画像のサムネイル（縮小版）を表示します。ここに表示された画像をダブルクリックすると、その画像の編集画面へ切替ることができ

きます。また、画像を右クリックすると、「削除」、「リストの更新」が行えます。

④ ショートカット表示

ソフトウェアの一部の機能を、ショートカットとして使用できます、

⑤ 画像表示ウィンド

スキャナーから映し出される映像の表示や、スキャンした画像の表示枠です。

メニューバー、ツールバーの各機能

ここでは、「メニューバー」および「ツールバー」からの各機能について説明します。

4.3.1　ツールバーについて

アイコン	名　　称	機　　　　　　能
	ビュー変更	スキャンモードと画像編集モードの切り替え。 (P.17)
	開く	保存してあるファイルを開く。 (P.14)
	上書き保存	現在開いているファイルを上書き保存する。 (P.14)
	印刷	現在開いているファイルを印刷。 (P.14)
	画像スキャン	画像のスキャンを行う。 (P.25)
	ビデオ特性	スキャナー本体の設定。 (P.25)
	スキャン設定	「保存先」、「ファイル名」などの設定。 (P.26)
	元に戻す/ やり直し	編集した内容を元に戻したり、やり直し。 (P.15)
	ズームイン/ ズームアウト	編集中の画像を、拡大または縮小表示。 (P.16)
1:1	実サイズ	画像を実際の大きさで表示。 (P.16)
	全体表示	画像を画像表示ウィンドに合わせて表示。 (P.16)
	左回りに回転(90 度)	画像を左回りに 90 度回転。 (P.18)
	左回りに回転(0.5 度)	画像を左回りに 0.5 度回転。 (P.18)
	回転	画像を指定した角度で回転したり、回転後の背景色の指。 (P.18)
	右回りに回転(0.5 度)	画像を右回りに 0.5 度回転。 (P.18)
	右回りに回転(90 度)	画像を右回りに 90 度回転。 (P.18)
	移動	画像が画像表示ウィンドより大きく表示されている場合に、マウスの左ボタンをクリックした状態で表示位置を移動。 (P.16)
	自由選択	編集中の画像の一部を自由に選択。 (P.16)
	長方形選択	編集中の画像の一部を四角形に選択。 (P.17)
	クロップ	自由選択や長方形選択で選択した範囲を、四角形で切り抜き。 (P.20)

	選択範囲の取り消し	自由選択や長方形選択で選択した範囲を取り消し。 (P.20)
	塗りつぶし	自由選択や長方形選択で選択した範囲を塗りつぶし。 (P.24)
A	文字の追加	編集中の画像上に文字を追加する。 (P.16)
	和らげる	画像をソフトに補正。 (P.20)
	シャープ	画像をシャープ補正。 (P.20)
	グレースケール	256 階調でグレースケール処理。 (P.22)
	ハーフトーン	黒と白つまり輝度が０と255の色だけを用いて画像を表現。 (P.23)
	ディザ	異なった密度の黒い画素を使用し、グレー画像処理。 (P.22)
	影削除	画像から影を削除。 (P.23)
	照度増加/照度低下	画像の明るさを調整。 (P.24)
	コントラスト増加/ コントラスト低下	画像のコントラストを調整。 (P.24)
?	バージョン情報	ソフトウェアのバージョン情報を確認。 (P.32)

「ファイル」メニューの機能

ファイルメニューではユーザーはファイルに関する操作を行います。「開く」、「上書き保存」、「名前をつけて保存」、「印刷」、「印刷プレビュー」、「印刷設定」、「印刷(1:1)」 、「終了」などの作業項目があります。

① [開く(O)] (ツールバーボタン)

保存されている画像ファイルを開いて編集が可能です。
ただし、本ソフトウェアで対応している形式以外は、開いて編集することはできません。

② [上書き保存(S)] (ツールバーボタン)

編集しているファイルに対し、編集した内容を上書き保存します。

③ [名付けて保存(A)]

編集しているファイルに対し、編集した内容を上書きせずに、「ファイル名」、「ファイル形式」、「保存先のフォルダ」を変更して保存することができます。

④ [印刷(P)] (ツールバーボタン)

編集した画像をパソコンに接続されているプリンタを使用し印刷します。クリックするとプリンタ オプションのダイアログを表示され、「OK」ボタンを押すと、印刷が実行されます。
※必要に応じて、プリンタを選択や、プリンタの設定等をおこなってください。なお、プリンタの設定については、ご利用のプリンタのマニュアルを参照ください。

⑤ [印刷プレビュー(V)]

編集した画像を印刷したときのイメージを画面上で確認する機能です。

⑥ [プリンタの設定(R)]

印刷の前にパソコンに接続されているプリンタの選択や、設定を行います。

⑦ [印刷(1:1)]

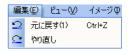
オプションのメニュー項目です。このオプションを選択して印刷すると、実際の画像サイズで印刷します。

※注）画像サイズが大きい場合、用紙の印刷領域に収まりません。用紙の印刷領域に収める場合は、このモードは選択しないでください。

⑧ [終了(X)]

ソフトウェアを終了します。

4.3.3 「編集」メニューの機能 (ツールバー ボタン)

「編集」メニューは、画像の編集中の作業を「1 段階戻る」（操作の取り消し）、「1 段階進む」（やり直し）といった操作、処理の制御を行います。

4.3.4　「ビュー」メニューの機能

「ビュー」メニューでは、スキャンモード、画像編集モードの「ビューモードの変更」や、編集中の画像の「拡大・縮小表示」、「文字の挿入」、「移動」、「選択」等の作業を行います。

① [ズームイン・ズームアウト]　(ツールバー　ボタン)

編集中の画像を画面に拡大表示したり、縮小表示したりします。

② [実サイズ] (ツールバー　ボタン)

編集中の画像を実際のサイズで画面に表示します。

③ [全体表示]　(ツールバー　ボタン)

画面に合わせて編集中の画像の全体を表示します。

④ [移動]　(ツールバー　ボタン)

表示している画像が現在表示されている範囲より大きい場合に、マウスの左ボタンを押したままドラッグすると、画像の表示位置を移動することができます。

⑤ [自由選択]　(ツールバー　ボタン)

編集中の画像の一部を自由に選択できます。この機能は、左ボタンを押したままドラッグ選択範囲を決め、ボタンを離した時にドラックした軌跡が自動的閉じられ、その内側が選択されたことになります。
選択した範囲は､｢フルカラーボタン　｣で塗りつぶしたり､｢クロップ　｣ボタンで切り取ったりすることができます。

⑥ [文字の追加]　(ツールバー　ボタン)

編集中の画像上に文字を追加することができます。この機能を選択すると右図の画面が表示されます。

「設定」ボタンでフォントの設定、「カラー｣ボタンでフォントの色の指定を行った後に､枠内に文字を入力し､｢確定」ボタンをクリックすると内容を記憶します。その後に編集中の画像

の上の文字を追加したい場所をクリックすると、文字が追加されます。

※注）日本語文字については、使用するフォントの種類によっては文字化けを起こす場合があります。

⑦ [長方形選択]　(ツールバーボタン)

編集中の画像の一部を四角形に選択できます。この機能は、左ボタンを押したままドラッグ選択範囲を決め、ボタンを離した時にドラックした範囲が指定され、その内側が選択されたことになります。
選択した範囲は、「フルカラーボタン」で塗りつぶしたり、「クロップ」ボタンで切り取ったりすることができます。

⑧ [全画面表示]

ソフトの「ツールバー」、「イメージリスト」、「ショートカット表示」を隠し、編集する画像を全画面で表示します。「メニューバー」は表示したまま残ります。もとの画面に戻るには「全画面」メニューを再度クリックします。

⑨ [ビュー変更]　(ツールバーボタン)

ソフトの画面を「スキャンモード」の画面、または「画像編集モード」の画面へと切り替えます。

4.3.5　「イメージ」メニューの機能

このメニューには、現在編集中の画像に対し、「画像の回転」、「反転」、「画像サイズの変更」などの処理を行います。

① [左右反転]

編集中の画像を、左右反転します。

② [上下反転]

編集中の画像を、上下反転します。

③ [左回りに回転(0.5 度)]　(ツールバーボタン)

編集中の画像を、左回りに 0.5 度回転します。

④ [右回りに回転(0.5 度)]　(ツールバーボタン)

編集中の画像を、右回りに 0.5 度回転します。

⑤ [左回りに回転(90 度)]　(ツールバーボタン)

編集中の画像を、左回りに 90 度回転します。

⑥ [右回りに回転(90 度)]　(ツールバーボタン)

編集中の画像を、右回りに 90 度回転します。

⑦ [回転]　(ツールバーボタン)

画像を「角度」を指定し、時計回り、または反時計回りで任意の角度で回転させます。

また、「補間手法」の選択にて、回転処理後の画質の処理や、「塗りつぶしモード」では、背景部分の処理を設定することができます。

● **[補間方法] について、簡単に説明します。**

[Nearest neighbour](最短距離法)

90°、180°、270°のような 90°毎以外の回転では、±0.5 画素未満の量子化誤差（実数を整数とみなしたことによる）を伴うため、エッジにはジャギー（ギザギザ）が発生しやすくなります。

[Bilinear] (双線形補間)

複数のピクセルの色の平均値を使うため、変形後の画像には変形前には存在しなかった色が含まれることになります。
双線形補間は元のサイズの 50% より小さくする場合は画質が悪くなってしまいます。

[Bicubic (hard)](３次補間法ハード)

処理後の画像はエッジを強調する傾向になります。

[Bicublic 2 (soft)](３次補間法ソフト)

処理後の画像はエッジをソフトにする傾向になります。

[BSpline (blur)](B-スプライン)

元の画像に対し、若干すりガラス越しに見た質感に処理します。

[Lanzcos (sharp)]

色差が激しい画像、例えば、白い背景の上に黒で描かれているイラストの場合、輪郭が二重になる場合があります。

[Hermite]

元の画像とほぼ同等の質感での処理をします。

● [塗りつぶしモード]について

回転させた画像の背景の処理を行います。

[Background (or Black)]

背景を黒塗りで処理します。

[Background (or White)]

背景を白塗りで処理します。

⑧ [画像サイズ変更]

画像サイズを変更できます。メニュー項目をクリックすると、画像大小ダイアログが表示されます。

「倍率」の項目に、拡大、または縮小したい倍率を入力するか、または「画素設定（幅 x 高さ）」の項目に直接ピクセル数を入力して指定することができます。

「元の比率保持」は、元の画像の縦 X 横の比率を保持し、拡大・縮小します。　※[補間手法]は、前述の[回転]の項を参照ください。

⑨ [選択範囲の取り消し]　(ツールバー ボタン)

[自由選択]、または[長方形選択]で選択した範囲を取り消します。

⑩ [クロップ]　(ツールバー ボタン)

[自由選択]、または[長方形選択]で選択した範囲を四角形で切り抜きます。

⑪ [リニアフィルター]

画像をリニアフィルターにより処理します。

[ぼかし]

画像をぼかします。

[和らげる]　(ツールバー ボタン)

画像をソフトに補正します。

[ガウス 3x3]

ガウス マトリックスの 3x3 の比重で画像をソフトにします。

[ガウス 5x5]

ガウス マトリックスの 5x5 の比重で画像をソフトにします。

[シャープ]　(ツールバー ボタン)

画像のエッジ効果を補正しシャープに補正します。

[エッジ検出]

画像のエッジ部分を抽出し表示します。

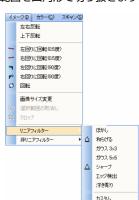
[浮き彫り]

画像にエンボス（浮き彫り）効果処理をします。

[カスタム]

画像のマトリクス演算子を設定し、プロフェッショナルな処理を行います。

プリセットされた項目を選択するか、「マトリックス」の枠内に直接数値を入力することもできます。

設定した内容は、「セーブ」ボタンで保存や、保存した設定を「ロード」ボタンで呼び出すことができます。

⑫　[非リニアフィルター]

画像をノンリニアフィルターにより処理します。

[ノイズ増加]

画像にドットを追加し、全体的にノイズがかった画像処理をします。

[ノイズ除去]

局所領域における濃度値を小さい順に並べ、真ん中にくる濃度値を領域中央の画素の出力濃度とする処理で、ゴマ塩状のノイズを除去します。

[輪郭保護ボカシ処理]

輪郭を保護し、画像のザラつきを軽減させるボカシ処理をします。

[アンシャープマスク]

シャープさをしきい値により制御し、画像を鮮明にします。

[膨張処理]

細い線を強調にするよう、膨張処理を行います。

[収縮処理]

太い線を細く処理します。

[アウトライン描画]

画像のアウトラインを描きます。(※写真画像には向きません)

[エッジ検出]

画像のエッジ部分を検出し、表示処理をします。

[ジッター]

イメージの画素を拡散させて、画像を揺らいだような効果処理をします。

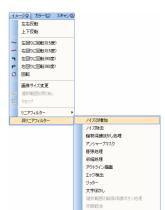
[文字ぼかし]

テキストをボカシます。

[選択範囲の輪郭保護ボカシ処理]

範囲選択した範囲を、「輪郭保護ボカシ処理」します。

[赤眼軽減]

選択範囲の赤みを除去します。

4.3.6　「カラー」メニューの機能

編集中の画像の色についての処理を行います。

①　[ネガ]

色（R.G.B）の反転処理をします。フィルム効果と同じです。

②　[グレースケール]　(ツールバー ボタン)

256 階調でグレースケール処理します。この効果は白黒のテレビの映像と同じ効果です。

③　[ディザ]　(ツールバー ボタン)

異なった密度の黒い画素を使用して、グレー画像処理をします。密度はクリックし表示される右図の設定から選択してください。

④　[ヒストグラム]

画像を構成する画素の赤、緑、青の色に応じた調整を行います。

[拡張(輝度)]

輝度パラメータを高くし、画像のヒストグラムを拡張し、グレースケールの間隔を拡げることで画像をより鮮明に処理します。

[拡張(結合)]

結合する方法で画像のヒストグラムを拡張し、グレースケールの間隔を拡げることで画像をより鮮明に処理します。

[拡張(独立)]

独立方法で画像のヒストグラムを拡張し、グレースケールの間隔を拡げることで画像をより鮮明に処理します。

[拡張1[限界＝0.5%]]

画像をより鮮明に表示するため、ヒストグラムを 0.5%の値で拡張を行い、グレースケールの間隔を拡げます。

[均等化]

画像の画素の値を変更し、平均的な輝度、またはカラー要素の配置を行います。

[標準化]

画像の画素の値を変更し、ばらつきのある輝度、またはカラー要素の分散を行います。

[全彩度]

画像のヒストグラムを全彩度にまで拡張します。

[半彩度]

画像のヒストグラムを半分の彩度で拡張します。

[影削除]　(ツールバー ボタン)

画像の影を消去します。

⑤ [しきい値]

ハーフトーン処理において、黒と白つまり輝度(0～255)の色のしきい値を設定し、モノクロにて画像を表現します。

⑥ [ハーフトーン]　(ツールバー ボタン)

黒と白つまり輝度が 0 と 255 の色だけを用いて画像を表現します。

⑦ [カラー化]

画像をグレースケール化し、その上にカラーフィルターをかける処理です。
フィルターの処理方法は、「HSL」、「RGB」、「感光」の 3 つから選択することができ、各項目の数値を決めて作業するか、もしくは、「カラー」ボタンから色を選択することができます。

⑧ [ガンマ修正]

ガンマ曲線とノンリニアの色合いを編集する方法です。コントラストの度外が補正されるよう、明るい部分と暗い部分を検知し比率を上げます。

⑨ [擬似カラー]

画像を擬似的なカラーで発色させます。

⑩ [照度増加] / [照度低下]　(ツールバー　ボタン)

画像の明るさを調整します。

⑪ [コントラスト増加] / [コントラスト減少]　(ツールバー　ボタン)

画像のコントラストを調整します。

⑫ [飽和度増加(hsl)]

画像の彩度（色合い、彩度、輝度）を上げます。

⑬ [飽和度増加(yuv)]

画像の彩度(YUV カラー空間)を上げます。

⑭ [飽和度減少]

画像の彩度を下げます。

⑮ [塗りつぶし]　(ツールバー　ボタン)

「自由選択」ツールまたは「長方形選択」ツールで選択した範囲を塗りつぶします。

画面左側の「ショートカット表示」部（左図参照）にある、「カラー選択」で色を選択するか、もしくは「スポイトツール」にて画像上の一部をクリックして画像上の色の一部を選択し、「塗りつぶし」ボタンクリックすると、選択した範囲を塗りつぶします。

4.3.7　「スキャン」メニューの機能

画像の取り込み操作や、スキャンする際の各種設定を行います。

① [画像スキャン]　(ツールバー　ボタン)

被写体の画像をスキャンし取り込みます。取り込んだ画像は、画像リストに表示されます。

② [タイマースキャン]

設定した時間の間隔（3-10 秒）で、自動的に被写体の画像をスキャンします。時間の設定は、「スキャン設定」(右図)の「タイマースキャン間隔」にて設定を行います。

③ [スキャン停止]

「タイマースキャン」を停止します。

④ [ビデオ特性]　(ツールバー　ボタン)

スキャナー本体の「プロパティ」が表示され、「明るさ」、「コントラスト」、「露出」などを設定することができます。

⑤ [入力サイズ]

スキャンする時の、取り込む画像の出力解像度を選択します。
画像サイズは以下より選択できます。
320X240,
640X480,
800X600,
1024X768,
1280X1024,
1600X1200

⑥ ［スキャン設定］　(ツールバー ボタン)

スキャンした画像の「保存先の指定」や、「ファイル名の付け方」、「タイマースキャンの間隔」などの設定を行います。

①　画像の保存先のパスが表示されます。

②　基準となる「ファイル名」を指定します。指定したファイル名の後に、後述の「時間」、または「番号」が自動的に付加されます。

③　保存先フォルダを開くことができます。

④　保存先のフォルダを設定します。クリックすると、「フォルダの参照」画面が表示されますので、用途にあわせてスキャンした画像の保存先を指定してください。

⑤　「時間」は指定した「ファイル名」の後に、「撮影日時」を自動付加します。

⑥　「番号を自動付加」は、「ファイル名」の後に、５桁の「番号」を自動付加します。「番号を自動付加」の項目に「開始番号」を指定します。「増加量」は、「開始番号」から加算する数値を指定します。
例えば、「開始番号」を“1”とし、「増加量」を“2”とした場合、“00001、00003、00005、00007、…”というように、“2”を加算した数値がファイル名の後に自動的に付加されます。

⑦　JPEG 画質（圧縮係数）を指定します。数値は、“5～100”の範囲で指定できますが、数値が低いほど画質は悪くなります。

⑧　「サムネイル数」は、画面左の「イメージリスト」に表示するスキャンされた画像のサムネイル（縮小版）の数を指定します。

⑨　タイマースキャン時の、画像の撮影間隔時間を３～10 秒の間で指定します。

⑦ [イメージフォーマット]

スキャンした時の画像のファイル形式を（.jpg, .bmp, .tif）を指定します。

⑧ [イメージサイズ]

付属の専用原稿マットに応じた、スキャンする画像サイズを選択します。
「カスタマイズ」を選択した場合は、画面上のスケーラーで調整した範囲をスキャンすることができます。

⑨ [画像方向]

画像表示ウィンドに、スキャンした画像を回転して表示させることができます。

[無回転]；スキャンした画像を回転せずに表示します。

[左回りに回転]；スキャンした画像を左に 90 度回転して表示します。

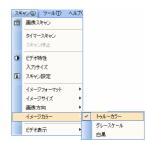
[右回りに回転]；スキャンした画像を右に 90 度回転して表示します。

⑩ [イメージカラー]

スキャンした画像のカラー設定をします。

[トゥルーカラー]; 24bit のカラーで画像を取り込みます。

[グレースケール]; 256 階調でグレースケールで画像を取り込みます。

[白黒]; 黒と白つまり 0 と 255 の色だけを用いて白黒のハーフトーンカラーで画像を取り込みます。

⑪ [ビデオ表示]

[ウィンドウサイズ]; 画像の表示を、実際の画像表示ウィンド枠にあわせて表示します。

[ピクセル等倍]; 画像の表示を、実物サイズで表示します。

4.3.8　「ツール」メニューの機能

取り込んだ画像や保存してある画像を　PDF ファイルに変換したり、被写体を動画（AVI 形式）で取り込む作業を行えます。

① [PDF に変換]

保存してある画像の内　.jpg 形式、または .tif 形式の画像から、PDF ファイルを作成することができます。

※注）PDF ファイルの閲覧には、別途 Acrobat Reader が必要です。

[PDF ファイル作成手順]

① 「ファイルを開く」をクリックし、変換したい画像ファイルを選択します。複数の異なるファイルであれば画像の選択を繰り返します。
選択した画像ファイルはリストに並んで表示されます。

② 表示された順番を並べ変えたい場合は、リスト上の移動したいファイルを選択して、「先頭へ移動」、「最後尾へ移動」、「1 つ上に移動」、「1 つ下に移動」などの移動ツールで順番を変更します。

③ リストに登録した画像ファイルを 1 つの PDF ファイルに変換するには、PDF 項目で「PDF ファイルに変換」を選択し、右にある「名前付けて保存」をクリックして保存先とファイル名を指定します。
また、登録した画像ファイルを**個別の PDF ファイルに変換する**には「PDF ファイルに一括変換」のラジオボタンをクリックし、保存場所のパスを選択します。

④ 「開始」をクリックします。

⑤ PDF ファイルが正常に作成されると右図の「完了」のガイダンスが表示されます。

⑥ 「閉じる」ボタンをクリックすると、
「1 つの PDF ファイルに変更」を選択した場合は、作成した PDF ファイルを表示します。
また、「PDF ファイルに一括変換」を選択した場合は、PDF ファイルの保存先に指定したフォルダを開きます。

②　[録画]

録画機能を使用することで、スキャンする被写体を動画（Microsoft AVI 形式）として取り込むことができます。

＞録画機能の制限事項；

1. 音声の取り込みについては、動作保証ならびにサポートの対象外となります。
2. 動作環境を満たした環境であっても、出力サイズによっては、正常に録画ができない場合があります。

メニューの「録画」をクリックすると、右図の画面に切り替わります。

メニューバーの各項目について

[ファイル]

[終了]; 録画モードを終了し、スキャナーソフト画面へ切り替わります。

[デバイス]

本製品のスキャナーが以下の様に選択されていることを確認します。

Windows Xp の場合は、「USB ビデオデバイス」

Windows Vista / 7 の場合は、「NV-PS200U」

[項 目]

画面に映像を表示したり、スキャナーの設定や、録画する画像サイズなどを設定します。

[プレビュー];

スキャナーからの画像を画面に表示します。

[ビデオキャプチャーフィルター];

クリックすると右図のスキャナー本体の「プロパティ」が表示され、「明るさ」、「コントラスト」、「露出」などを設定することができます。

[カメラピン];

録画するファイルの「フレーム率」、「出力サイズ」などを設定します。

フレーム率は、最大 30.000fps までで指定できます。
ただし、「出力サイズ」の設定によって、フレーム率の最大値は異なります。

※「出力サイズ」は、640X480 以下を推奨します。

[録　画]

録画のメニューは、「録画の開始」や「録画の停止」、「フレームレート」や録画の「制限時間設定」を行います。

[録画の開始];

録画を開始します。

※注意；
録画形式は無圧縮の AVI 形式のため作成されるファイル容量が非常に大きいものとなります。保存先のハードディスクの空き容量に注意し、録画をするようにしてください。

【録画の手順について】

① はじめて[録画の開始]をクリックすると、右図の「キャプチャファイルを保存する」画面が表示されます。「ファイル名」を入力し、「開く」ボタンをクリックします。

② ファイルサイズの設定画面が表示されますが、本製品ではこの機能は利用できませんので、そのまま、「OK」ボタンをクリックします。

③ 録画の準備が整うと、右図画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックすると、録画が開始されます。

④ 録画を停止するには、「録画停止」をクリックします。

[録画の停止];

録画を停止します。

[フレームレート];

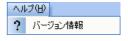
録画時のフレームレートの設定を行います。
ただし、フレームレートは、前述の[カメラピン]で設定した「フレーム率」の値を超えての録画はできません。

[時間制限設定];

録画時間を指定して、録画することができます。

制限時間を使用した場合、設定した時間で、録画を自動的に停止します。

4.3.9　「ヘルプ」メニュー

本ソフトウェアのバージョンを確認できます。
バージョン情報の確認は、ツールバーの?ボタンからでも確認できます。

第５章　よくある問い合わせ（FAQ）

Q1.

スキャナーを接続しソフトを起動しても、右図のようなエラーメッセージが表示され、ソフトが起動しない。

A1.

以下のことが原因として考えられますので、ご確認ください。

1. USB1.1 仕様の USB ポート、または USB HUB にスキャナー本体を接続している。
   対処方法；
   USB2.0 仕様の USB ポートへ接続する。

2. USB ポートからのバスパワーでの電源供給は不足している。
   対処方法；
   パソコン本体の USB ポートへ接続する。
   他の USB 機器を外してみる。
   セルフパワータイプの USB HUB を使用してみる。

3. 他の USB ビデオ機器との競合
   対処方法；
   他の USB 機器を外してみる。

Q2.

市販の OCR ソフト、または他のソフトウェアを使用したのですが、ソフトからスキャナー本体を認識できないのですが…？

A2.

本製品以外のソフトウェアでの動作については、動作保証ならびにサポートいたしかねます。
また、市販の OCR ソフトで本製品機器が動作しない場合は、一旦本製品のソフトウェアで画像をスキャンし、画像ファイルを保存します。その後に保存した画像ファイルを、OCR ソフトに取り込む方法をお試しください。

Q3.

Vista 環境で使用すると、「コントロールパネル」内の、「スキャナーとカメラ」の項目にスキャナーが登録されないのですが…。

A3.

Windows Vista の仕様です。
Windows XP などでは、Windows Image Acquisition (WIA) ドライバが含まれているため、「OS 標準の USB ビデオデバイスドライバ」で認識し動作す

る機器をパソコンに接続すると、コントロールパネルの[スキャナーとカメラ]に表示されていましたが、Windows Vista には、この WIA ドライバが含まれていないため[スキャナーとカメラ]には表示されません。
なお、本製品は、「OS 標準の USB ビデオデバイスドライバ」で動作する仕様となっているため、専用のドライバの提供はありません。

第６章　Windows でよく使われる画像ファイル形式

BMP 形式
BMP（Bitmap の略）で、Windows アプリケーション プログラムの標準形式です。圧縮されていませんので、多くのディスクの容量を使うことになります。

TIIFF 形式
Macintosh では典型的な画像フォーマットで、複雑な画像のスキャンなどにクロスプラットフォームで使われています。

GIF 形式
GIF （Graphics Interchange Format の略）その名の通り、画像を交換するために制定された方式です。ネット上の送信を規制するために、米国 CompuServe 社が 1980 年代に開発した方式として知られています。2 次元のカラー アニメーションを記録して、ネット上で動かして表示されるのによく使われています。但し 8bit のデジタル画像として記録するため、配色は 256 色だけになります。多くのソフトウェアでこの GIF 形式を採用しています。

JPEG 形式
JPEG 形式は Joint Photographic Experts Group で開発された共通のフォーマットで、正式には「ISO 10918」になります。拡張子は「.jpg」もしくは「.jpeg」です。画像、カラーデータを高い圧縮比で圧縮しますが、画像の品質とディスク容量の関係の均衡を考慮する必要があります。ネットワーク上あるいは CD などの媒体で画像を交換するのによく利用される形式です。

PNG 形式
PNG（Portable Network Graphics の略）は、圧縮アルゴリズム（LZW 法）の使用に法外なライセンス料を課された GIF に代わる、新しい誰でも無料で自由に使えるフォーマットとして開発されました。 PNG はその名前のとおり、初めから WEB 上で使用される事を前提として設計されているので、比較的高い圧縮率が期待できます。